

充電ハンマードリル&ドライバー

品番 EZ6803NKN・EZ6803N2K・EZ6803X

取扱説明書



《プロ用》

- このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

もくじ

安全上のご注意	2～5
各部のなまえ	6
付属品・別売品	7

ご使用前に

充電する	8～9
準備～作業	10～12
作業終了	13
別売アタッチメントについて ..	13

使いかた

お手入れ・保管	14
---------------	----

お手入れ・保管

電池パックについて	15
能力	16
仕様	17

お知らせ

故障かな?と思ったとき	18～19
保証とアフターサービス ..	裏表紙

点検方法

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠危険 人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意 人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される場合。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠危険

1. 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わないでください。	5. 電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
2. 電池パックは、火への投入、加熱をしないでください。	6. 電池パックは専用充電器以外では充電しないでください。 ●電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
3. 電池パックは分解・改造をしないでください。	7. 本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付けてください。 ●取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。	

⚠警告

1. 正しく充電してください。 ●この充電器は定格表示してある電源で使用してください。 直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。 ●温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。 ●電池パックは、換気の良い場所で充電してください。 電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。 ●使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。	3. 感電に注意してください。 ●ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
2. 電池パックの端子間を短絡させないでください。 ●電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。	4. 作業場の周囲状況も考慮してください。 ●充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。 ●作業場は十分に明るくしてください。 ●可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
	5. 保護めがねを使用してください。 ●作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠警告

6. 防音保護具を着用してください。 ●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。	9. 不意な始動は避けてください。 ●スイッチに指を掛けて運ばないでください。 ●電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
7. 加工するものをしっかりと固定してください。 ●加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。 手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。	10. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。 ●この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもは使用しないでください。
8. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。 ●使用しない、または、修理する場合。 ●刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。 ●その他危険が予想される場合。	11. 電池パックの液が目に入ったらただちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。
	12. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

⚠注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。 ●ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。	4. 無理して使用しないでください。 ●安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。 ●モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。
2. 子供を近づけないでください。 ●作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。 ●作業員以外、作業場へ近づけないでください。	5. 作業に合った充電工具を使用してください。 ●小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。 ●指定された用途以外に使用しないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。 ●乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。 ●充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。	6. きちんとした服装で作業してください。 ●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。 ●屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。 ●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

安全上のご注意

 注意

7. 充電工具は、注意深く手入れしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

14. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のないかたが修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

15. 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しないでください。

- 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

充電ハンマードリル&ドライバー 安全上のご注意

先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電ハンマードリル&ドライバーとして、さらに次にのべる注意事項を守ってください。

 警告

- 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。材料や本体などを落としたときなど、事故のおそれがあります。

- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。けがのおそれがあります。

- 本体落下防止のため、肩掛けベルトに肩を通してご使用ください。また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。

- 使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。けがのおそれがあります。

- 1パック以上の連続使用はしないでください。本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。

- 密閉された狭い場所で使用しないでください。発煙、発火、破裂などのおそれがあります。

- 屋外で充電中のとき、雷が鳴り始めたら使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷による火災や感電のおそれがあります。

 注意

- 先端工具類(ドリルなど)や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実にしないとはずれたりし、けがのおそれがあります。

- 使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。

- 作業直後に電池端子や作業に使用した先端工具類(ビットなど)・ネジ・切りくずには高温になっているので触れないでください。やけどのおそれがあります。

- 細径ドリルは折れやすいので注意してください。飛散して、けがのおそれがあります。

- ハンマードリルφ10、金工ドリルφ13を超える連続作業のときは、使用後本体を冷ましてからご使用ください。本体の温度が上昇し、やけどや故障の原因になります。

- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。熱風によるやけどのおそれがあります。

各部のなまえ

本体

作業モード切替ハンドル
(ハンマーモード/ドリルドライバーモード)

P12参照

正逆切替スイッチ

P12参照

風穴

チャック

P13参照

クラッチハンドル

LEDライト

P12参照

スイッチ(防塵カバー付)

P12参照

ビットアダプター収納部

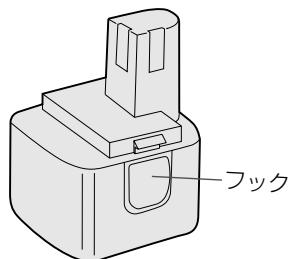
肩掛ベルト
(別途取り付け)

P10参照

ビットアダプター

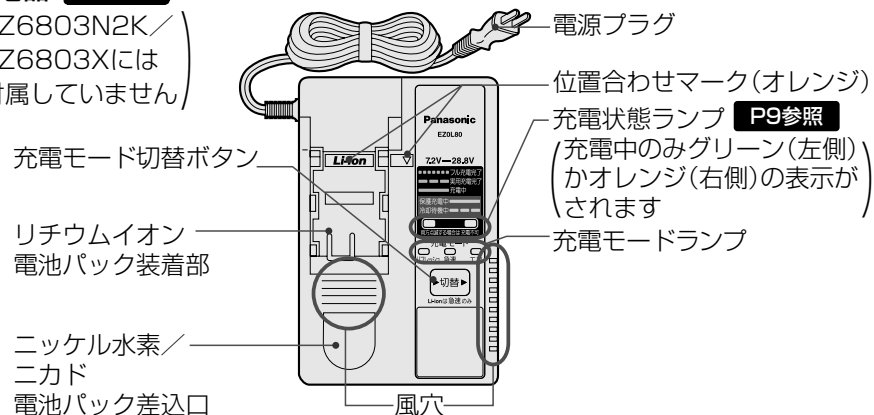
電池パック

(EZ6803Xには
付属していません)



充電器 **P8参照**

(EZ6803N2K/
EZ6803Xには
付属していません)



付属品・別売品

商品	付属品			別売品の有無
	EZ6803NKN	EZ6803N2K	EZ6803X	
充電器 	○	—	—	○ EZOL80
電池パック 	○ (2個入)	○ (2個入)	—	○ EZ9200 EZ9200S
パックカバー 	○ (2個入)	○ (2個入)	—	○ EZ9181W7827※
ケース 	○	○	—	○ EZ9629
肩掛ベルト 	○	○	○	○ EZ3561L3417※
ビット用グリス 	○	○	○	○ EZ6812T7917P※
ビットアダプター 	○	○	○	○ EZ9HX403
ドリルチャック (チャックハンドル付) 	—	—	—	○ EZ9HX400
ハンマーチャック (チャックハンドル付) 	—	—	—	○ EZ9HX401
両頭プラスビット #2 ⊕65mm 	—	—	—	○ EZ9BP221 2本組

※補修用部品としてお買い求めできます。

充電する

警告

- 雨中では使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。発煙、発火のおそれがあります。

お知らせ

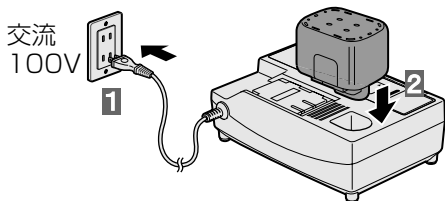
- 充電器は冷却ファンで電池を冷やしながらから充電します。電池パックを充電器に差し込むと、ファンによる送風を始め、充電が完了すると送風量が少なくなります。
- 電源プラグを抜いた後も充電モードランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。**裏表紙参照**

お願い

- 0~40℃の場所で充電してください。
 - ◀ 気温が0℃以下の場合
 - ・ 寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックは正常に充電できません(特にリチウムイオン電池の場合フル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)。このときは電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
 - ◀ 気温が40℃以上の場合
 - ・ 直射日光、夏期のアスファルトの上など周囲温度が高い場所で充電しても電池パックの温度が45℃以下にならないと電池保護のため充電を開始しないことがあります。
- 電池パックや充電器の風穴をふさがないでください。
- 2パック連続で充電したときは、充電器のご使用を約30分休止し、充電器を十分放熱させてからご使用ください。
- 充電器のニッケル水素/ニカド電池パック差込口に手を入れないでください。端子の変形や故障の原因となります。

1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのうち、いずれかが1つが点灯します。



ニッケル水素電池やニカド電池の場合

- お買い求め時は、電池パックの活性化のため必ずリフレッシュ充電をしてください。

2 電池パックを差し込み約30秒以内に充電モードを選ぶ

- メーカー出荷時、充電モードは急速充電に設定されています。
- 充電モード切替ボタンを押すと順次切り替わります。



- 充電モードは電池パックを充電器に差し込んでから約30秒後に確定(記憶)*されます。確定後、充電モードを切り替える場合は、電池パックを一度抜き差ししてください。
- 充電モードを選ばないと前回の充電モードで充電されます。(リフレッシュ充電を除く)
- ※ リフレッシュ充電を選択した場合や充電モード確定前に電源プラグを抜いた場合は記憶されません。

3 充電後は電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

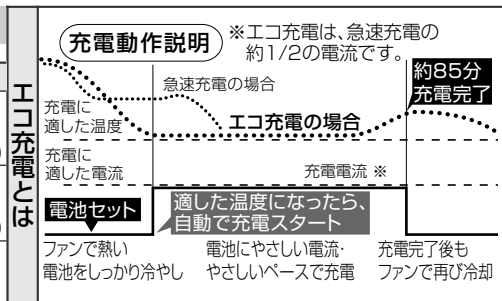
充電状態ランプの見かた P6参照

点灯 遅い点滅 早い点滅 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
点灯	消灯	充電中
遅い点滅	消灯	実用充電完了 (リチウムイオン電池のみ)
早い点滅	消灯	フル充電完了
消灯	点灯	電池保護 充電中
消灯	遅い点滅	冷却待機中
早い点滅	早い点滅	充電不可

充電モードについて

充電モード		充電時間
エコ充電	電池にやさしくゆっくり充電	約45~85分 (EZ9200 EZ9200Sの場合)
急速充電	電流を制御しながら短時間で充電	約22分 (EZ9200 EZ9200Sの場合)
リフレッシュ充電	P15参照	約12時間以内

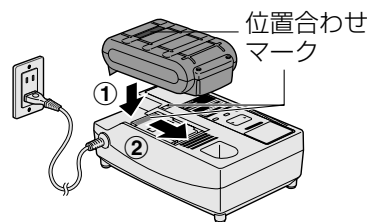


リチウムイオン電池パックの場合

- お買い求めのときはフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

2 電池パックを充電器に装着する

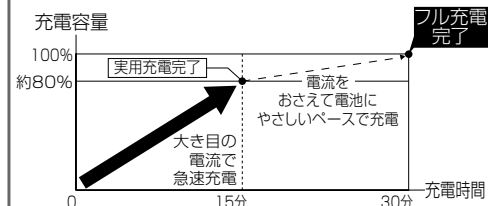
- ① 位置合わせマークを合わせて差し込む
- ② 底に当たったら矢印の方向に引く



- 充電モードランプは「急速」が点灯します。(リチウムイオン電池パックの充電モードは「急速」のみです。切り替えはできません。)

- 充電状態ランプが充電状態を表示します。

実用充電とフル充電について



3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

準備～作業

準備中のご注意

警告

- ドリルや付属品の取り付け・取りはずしは、必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体から抜いてください。急に動き出し事故のおそれがあります。
- 肩掛ベルトは本体にしっかりと取り付け、ご使用前はベルトの長さを確認してください。
- ベルトの状態を確認し、キズや破れ等がある場合は使用しないでください。取り付けが不完全なままで使用すると本体が落下してけがのおそれがあります。
- 肩掛ベルトは、肩部にしっかりと掛けてください。肩部以外の場所に引っ掛けないでください。不意の落下による事故のおそれがあります。

ご使用に際しては、関連法規や条例で定める騒音規制値以下であることが必要です。必要に応じて、しゃ音壁を設けてください。

作業中のご注意

警告

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。けがのおそれがあります。

注意

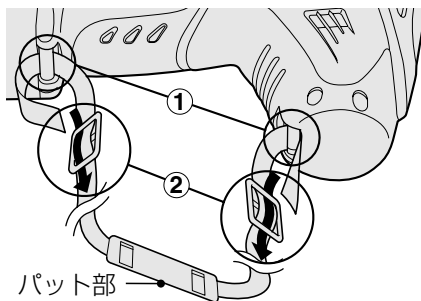
- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。熱風によるやけどのおそれがあります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。風穴をふさいで使用すると、本体機能を損ない故障の原因となります。

ハンマー動作にしても打撃しない・打撃力が弱いときは

- 作業前のビットを押し付ける力が弱いからです。無負荷で動作させたときにハンマーの空打ちを防止する構造になっています。ビットをさらに押し付けるとハンマーの固定が外れて打撃します。一旦、作業前にビットを強く押し付けてください。尚、作業中はすぐに押し付ける力を弱めてください。作業中も強い力で押すと、細径ドリルが折れる場合があります。
- 冬場など、本体の温度が低いと(0℃以下)グリスが硬くなり、抵抗が増えるからです。約30秒程度ハンマーモードで無負荷動作を3回程度繰り返し行ってください。打撃力が回復します。

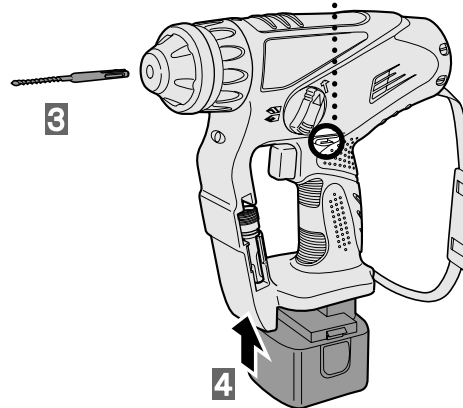
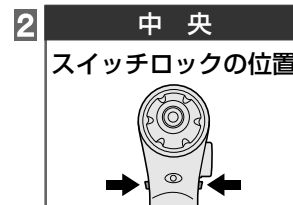
1 肩掛ベルトを取り付ける

- ① ベルトをベルト取付部に通す
- ② ベルト長さ調節部に通し、調節する



- 肩掛ベルトの長さは個人に合わせて調節できます。
- 肩掛ベルトのパット部を肩に当たる部分に合わせてください。
- 肩掛ベルトを引っ張り、本体にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

2 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



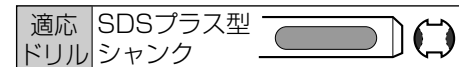
3 先端工具を取り付ける

<コンクリート穴あけの場合>

■コンクリート用ドリルを使用

- ① 取付部を取り付け穴に差し込みながら回し、かみ合うところをさがす
- ② かみ合ったところで、さらに押し込んで固定する
 - 軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

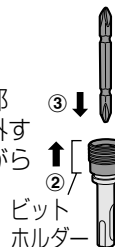
※この本体には、SDSプラス型シャングのドリルが取り付け可能です。



<ネジ締めの場合>

■ビットアダプター(付属)とビット(別売)を使用

- ① 本体のビットアダプター収納部からビットアダプターを取り外す
- ② ビットホルダーを引っ張りながら
- ③ ビットを差し込む
- ④ ビットを軽く引っ張り、抜けないことを確認する
- ⑤ 上記<コンクリート穴あけの場合>の①②を実施してください。



トルクについて

■クラッチハンドルで締め付けトルクを選ぶ

■トルク選定の目安 ●作業に応じて約1N・m(10kgf-cm)きざみで5段階に調整できます。

	目盛	トルク	材料による作業の目安	
			コンクリート	ブロック
ネジ締め	1	約1.5N・m(15kgf-cm)	A	B
	2	約2.5N・m(25kgf-cm)		
	3	約3.4N・m(35kgf-cm)		
	4	約4.4N・m(45kgf-cm)		
	5	約5.4N・m(55kgf-cm)		
穴あけ	(キリマーク)	約8.3N・m(85kgf-cm)	金工の穴あけ	

① 下穴φ6.0プラスチックアンカーのネジ締め作業

② 下穴φ3.5ノープラグビスのネジ締め作業

※あくまでも目安です。ネジ、アンカーの形状や材質、締付材料の強度などにより、必要なトルクは異なります。現場の作業環境に合わせて設定してください。

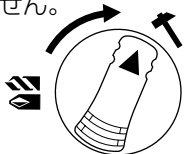
準備～作業 (つづき)

- 4** 電池パックを取り付ける
- 電池パックが本体に固定されるまで差し込んでください。

- 5** 作業に合わせて作業モードを選ぶ
- 作業モード切替ハンドルをカチッと音がするまで回転させます。
 - 作業モード切替ハンドルの操作はモータが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

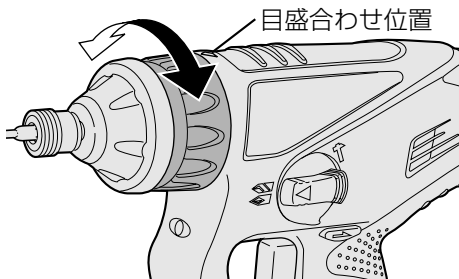
<コンクリート穴あけの場合>

- ハンマー(打撃+回転)モードを選択する
- ハンマー(打撃+回転)モードの時はクラッチは、動きません。



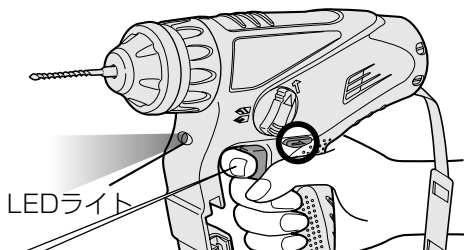
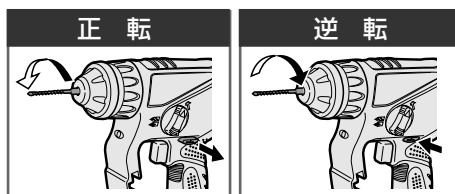
<ネジ締め/金工穴あけの場合>

- ①ドリルドライバー(回転のみ)モードを選択する
- ②クラッチハンドルを回転させて、本体の目盛合わせ位置にトルクの目盛を合わせる



- トルクの選定は **トルクについて** をご参照ください。 **P11参照**

- 6** 正逆切替スイッチで正転/逆転を決めてスイッチを入れる



- スイッチを引き込むに従って回転数が上がる。(センター決めの際は、ゆっくりスタートする)
- スイッチをはなす(スイッチ切)とブレーキが作動。

- 細径ドリルをご使用の場合は、折れ防止のため回転数を下げた状態で作業を続けてください。
- 正逆切替スイッチの操作はモータが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

LEDライトについて

奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

- スイッチを引き込むと自動的に点灯。
- スイッチをはなす(スイッチ切)と消灯。
- ライトは微小電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。

注意

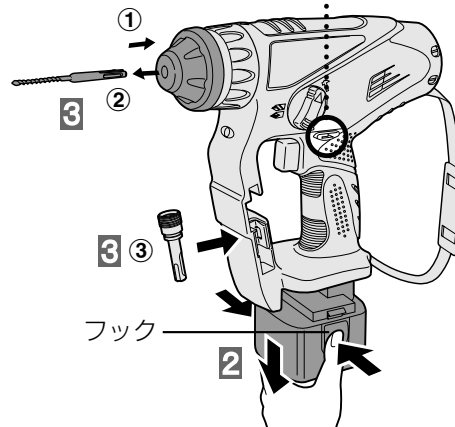
- LEDライトは補助ライトです。懐中電灯としては使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。
- LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

作業終了

注意

- 穴あけ直後はドリルが熱くなっております。取り扱いには十分ご注意ください。やけどのおそれがあります。

- 1** 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



- 2** フックを押しながら電池パックを抜く

- 3** 先端工具を取り出す

- ①チャックを本体側に押し込みながら
 - ②ドリル・ビットアダプターを引き抜く
 - ③ビットアダプターを本体のビットアダプター収納部に納める。
- この時、ご使用されたビットを(両頭プラスビット/L=65mm)ビットアダプターに差し込んだまま本体に収納ができます。
 - ※コンクリートドリルの収納はできません。

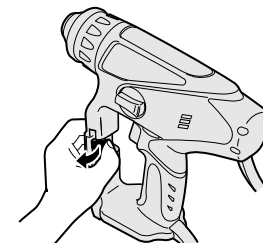
別売アタッチメントについて

別売アタッチメントを本体に取り付けると以下の作業ができます。

別売アタッチメント	作業モード切替ハンドル ハンマーモード:ドリルドライバーモード
ドリルチャック EZ9HX400	(使用不可) (使用可)
●用途● チャック径φ1.5～φ13 金工ドリルが使えます。 ※ハンマーモードでは絶対使用しないでください。打撃によりチャックが壊れるおそれがあります。	
ハンマーチャック EZ9HX401	(使用可) (使用可)
●用途● チャック径φ2.5～φ13 ハンマーモード(打撃+回転)で使用できます。モルタル・ブロック・レンガの穴あけ専用です。 ※ストレートシャンク以外のビットは使用しないでください。 ドリルドライバー(回転のみ)モードにすると金工ドリルが使えます。	

- 本体への取り付けかたは、**<コンクリート穴あけの場合> P11参照**と同様です。

- ビットホルダーの下部分を親指で左方向に引き出すと容易に取り出せます。



お手入れ・保管

お手入れのしかた

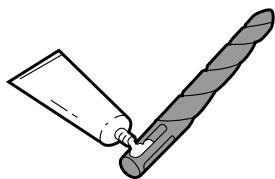
やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)



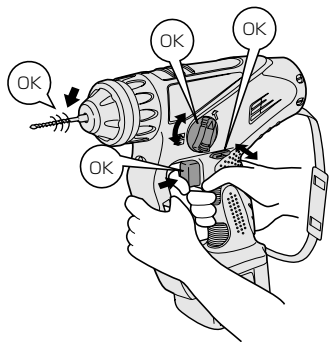
ドリルの取付部にグリスを塗布する

月に1回は行なってください。



定期点検の実施

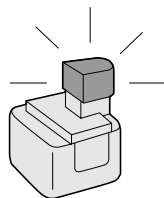
ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがなければ定期的に点検してください。



保管のしかた

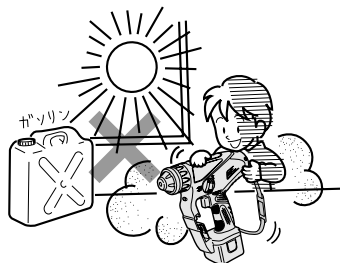
電池パック(ニッケル水素電池)は充電した後、パックカバーをつける

電池パックを長持ちさせ、保管時に短絡を防ぐため。



以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



お願い

- 本体を雨や水のかかる場所や湿気の多いところに置いたり、保管したりしないでください。

電池パックについて

警告

- 電池パックを火中に投入しないでください。
破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

長持ちさせるために

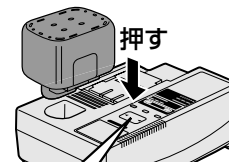
- 電池パック(ニッケル水素)は、使用後フル充電してから保管してください。また、使いきる前に継ぎ足し充電してください。
- 熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。

リフレッシュ充電のお願い

(ニッケル水素、ニカド電池の場合)

- お買い求めのとき。
- 以前より作業量が減ったと感じたとき。
- 使用後、充電して保管したが、2ヵ月以上放置した電池を使用するとき。

性能回復のため、リフレッシュ充電をしてください。



▶ 切替 ▶ を押してリフレッシュ充電を選ぶ。(リフレッシュがグリーン点灯)

12時間以内にリフレッシュ充電完了。

エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。

- 電池の状態に合わせて冷却ファンで電池を冷やしながらリフレッシュ充電を行なうためファンの回転数が途中で下がり、送風量が少なくなります。
- リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なうおそれがあります。

お願い

- 一部のニカド電池パック(EZ9180/EZ9181/EZ9080)とリチウムイオン電池パックは同時に装着できませんがどちらも充電されません。
両方の電池パックを一旦はずして、再度一方の電池パックを装着してください。

電池パックの寿命

寿命の目安/処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは電池パックの寿命です。
新しい電池パックをお買い求めください。

ニッケル水素電池リサイクルについて

この製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックを廃棄の際はお買い求めの販売店へお返しください。(電池パックは短絡防止のため、必ずパックカバーを付けるか端子部に絶縁テープを貼ってください。)



※EZ6803Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。

本製品の使用電池

- 名称: 密閉型ニッケル水素蓄電池 (NタイプHR23/43)
- 公称電圧: 1.2V
- 数量: 10本

能力

作業範囲

作業	相手部材	先端工具	作業能力
穴あけ	コンクリート※1	コンクリートドリル	φ3.2~φ10mm(φ12.5mm)※2
	冷間圧延鋼板 (SPC)	金工ドリル	φ13 (板厚1.6mm) まで
ネジ締め	アンカー	プラスビット	φ4.5のネジまで (下穴φ6のアンカー用ネジ相当)

1回のフル充電による作業本数(周囲温度20℃)

※数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。
また、締付本数は締付時間が長くなると少なくなり、短くなると増えます。

①穴あけ

相手部材	ドリル径	深さ・板厚	作業量
コンクリート※1	φ3.5mm	約30mm	約85穴
	φ6.0mm	約30mm	約70穴
	φ10.0mm	約40mm	約30穴
	φ12.5mm※2	約40mm	約20穴
冷間圧延鋼板 (SPC)	φ13.0mm(下穴6.5mm)	1.6mm	約55穴

②コンクリート穴あけ+ネジ締め

作業	コンクリート穴あけ	ネジ締め	作業量
ノープラグビス作業	φ3.5mm、約30mm	φ4×25mm	各 約75本
プラスチックアンカー作業	φ6.0mm、約30mm	φ4.5×25mm	各 約65本

※1 コンクリート強度2.4kN/cm² (240kgf/cm²)

※2 電池1パック以内の作業が可能

仕様

本体

モータ電圧	DC12V	打撃数	約4000回/分
質量(重量)	約2.40kg	回転数	約1000回転/分
大きさ (概略寸法)	全長 全高 *幅 249×257×64(mm) *電池パック最大幅88mm	打撃力	21.6KN(2200kgf)

充電器 (EZOL80)

電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	約198W	質量(重量)	約0.96kg
----	----------------	------	-------	--------	---------

充電可能な電池パック ※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
※工コ充電の充電時間は充電前冷却時間を含みます。

電池パックの種類	材料	リチウムイオン電池							
		3.3Ah			3Ah				
		LZ			LN				
電池電圧	28.8V	EZ9L81			EZ9L80				
充電時間	実用フル	約27分			約22分				
		約50分			約40分				
電池電圧	14.4V	EZ9L41			EZ9L40				
充電時間	実用フル	約19分			約15分				
		約38分			約30分				
電池パックの種類	材料	ニッケル水素電池			ニカド電池				
		2Ah		3Ah	1.2Ah		1.7Ah	2Ah	
		H		N	C	D	E	F	V
電池電圧	7.2V	EZ9168 EZ9168S	—	EZ9066	EZ9065 EZ9061	EZ9165	—	—	
	9.6V	EZ9188 EZ9188S	—	EZ9086	EZ9080	—	EZ9186	EZ9187	
	12V	EZ9108 EZ9108S	EZ9200 EZ9200S	EZ9006	EZ9001	EZ9101	EZ9106	EZ9107	
充電時間	急速 工コ	約15分	約22分	約9分		約12分	約15分		
		約30~70分	約45~85分	約20~60分		約25~65分	約30~70分		
電池電圧	15.6V	—	EZ9230 EZ9230S	—	—	—	EZ9136	EZ9137	
充電時間	急速 工コ	—	約27分	—	—	—	約16分		
		—	約45~85分	—	—	—	約30~70分		
電池電圧	24V	—	EZ9210 EZ9210S	—	—	—	EZ9116	EZ9117	
充電時間	急速 工コ	—	約30分	—	—	—	約20分		
		—	約45~85分	—	—	—	約30~70分		

※EZ9061は中間アダプターEZ0890(別売品)が必要です。

※表には、販売中の電池パックと販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症 状	考えられる原因	
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	
	電池パックを差し込んで充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	
	充電中に冷却待機中の状態になる。(オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックが熱くなっている。	
作業時	動かない。(ライトが点灯しない)	電池パックが充電されていない。 電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	
	フル充電をして、ハンマー打撃をしても打撃しない。打撃力が弱い。	温度が低い場所(0℃以下)で本体(電池パック)を使用した。 作業前のビットの押し付け力が弱い。	
	スイッチを切ると、停止音がする。	本体の温度が低いため(0℃以下)グリスが硬くなり、抵抗が増えている。 ブレーキの動作音です。	
	ドリルモードで振動が大きい	本体の構造上、ハンマー停止位置ズレによりピストンが微振動する場合がある。	
	充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。	ドリルが消耗している。	
		電池パックの寿命。	
		冷えた電池(約0℃以下)を暖かい場所で充電した。 電池パックが2ヵ月以上放置されていた。あるいは購入したばかりである。	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに差し込んだとき「充電モード」ランプのいずれかが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に「充電モード」ランプも「充電状態」ランプも点灯・点滅しない。 ● 「冷却待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ● 「充電中」(グリーン:点灯)後、1時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 ● 「リフレッシュ充電」を開始した後、13時間以上充電しても「充電状態」ランプが「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 	

処 置
そのまま放置してください。しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
別のコンセントで、充電するか、テレビ・ラジオから離して充電してください。
ゴミを取り除いてください。
気温が0~40℃の場所で充電してください。0~40℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。冷めると自動的に充電を開始します。
充電をしてください。
ゴミを取り除いてください。
再度充電し、(周囲温度0~40°の範囲内で)充電完了になってからお使いください。
作業前にビットを強く押し付けてください。尚、細径ドリルをご使用の場合は折れ防止のため作業中の押し付け力を弱めてください。
約30秒程度ハンマーモードで無負荷動作を3回程度行なってください。
故障ではありません。
ハンマーモードで一度空転させたらドリルの位置に切り換えてください。
新しいドリルと交換してください。
新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
10℃以上の場所に1時間程度放置し、電池パックの温度が上がったあとで、再度充電してください。
リフレッシュ充電を行なってください。 P15参照

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
● 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどで相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間:お買い上げ日から本体・充電器6か月間
(ただしビット・電池パック・ケースは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)

■ 補修用性能部品の保有期間 [5年]

当社は、この充電ハンマードリル&ドライバーの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

18~19ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電池パックをはずして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	充電ハンマードリル&ドライバー	お買い上げ日	年 月 日
品番	EZ6803(NKN・N2K・X)	故障の状況	できるだけ具体的に

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・ 転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は


修理ご相談センター


ナビダイヤル  **0570-081-365** ハイ 365日
(全国共通番号)
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時~20時


ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。


大阪 ☎06-6906-1090


〒571-8686 大阪府門真市門真1048 パナソニック電工テクノサービス(株)

札幌 ☎011-261-6401 

名古屋 ☎052-551-7900 

東京 ☎03-5392-7190 

福岡 ☎092-622-0531 

ご注意 ・ 印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。


・ 所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0810

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時

電話  **0120-878-365** パナは 365日

■ 携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787
Open : 9:00-17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社

製造元 パナソニック電工株式会社 パワーツール事業部

〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

パナソニックホームページ <http://panasonic.jp/>